

名古屋市鯉城学園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：健康福祉局>

指 定 管 理 者	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
主 な 業 務 内 容	鯉城学園の管理運営、鯉城ホールの貸出業務
指 定 期 間	平成30年4月～令和5年3月
評 価 対 象 期 間	令和4年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項
1 基本事項	(1)平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○
	(2)開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○
	(3)情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○
	(4)職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○
	(5)法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○
	(6)事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○
2 維持管理	(1)建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○
	(2)警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○
	(3)衛生管理	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○
	(4)備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○
3 サービ ス	(1)利用実績	事業が適切に実施されているか。	○
	(2)講座・行事の実施	事業が適切に実施されているか。	○
	(3)学生以外を対象にした事業の実施	事業が適切に実施されているか。	○
	(4)地域活動支援の実施	事業が適切に実施されているか。	○
	(5)広報・PRの実施	取組みが適切に実施されているか。	○
	(6)利用者満足度	利用促進のための基本姿勢が認められるか。	○
	(7)接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○
	(8)苦情・要望等の把握・対応	利用者の意見、苦情等に対し、迅速に対応できているか。	○
4 経費等	(1)執行状況	指定管理料は適正に執行されているか。	○
	(2)再委託	再委託の内容・方法は適正か。	○

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

概ね適切に管理運営されている。
 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら開校した。
 コロナ禍の中、学生の確保策を引き続き取り組んだが、入学者について、令和4年度においても専攻によっては欠員が生じていることから、今後も学生定員を充足させるさらなる努力が求められる。

施設の現状

名古屋市鯉城学園

施設概要								
施設の現状	市内在住の健康で学習意欲のある60歳以上の方を対象に、教養の向上を図り、生きがいを高めるとともに、社会的活動への参加の促進、地域活動の核となる人材の養成に寄与するために設置した施設です。具体的には、学生に対する教養・専門講座、自主活動の実施、地域活動の推進等を行っています。また、鯉城ホールの貸出も行っています。							
	市の収支状況(千円) (R4年度決算(見込)額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	72,097	49,680	121,777	1,462	0	120,315	121,777	-
	特記事項							
令和2年度及び令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言時は利用中止等を行ったため、鯉城ホール利用率は低い数値となっている。								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	出願倍率	倍	0.9	0.8	0.8	1.2		
	鯉城ホール稼働率	%	61	26.8	36.8	61.5		
	利用者満足度(アンケートで「満足」「概ね満足」と回答した割合)	%	89.5	-	-	88.9		
	特記事項							
平成26年度より事業の見直し 定員(1学年あたり):568名⇒760名 利用者負担:入学金 10,000円⇒0円 授業料(年額) 20,000円⇒48,000円 学科:10学科(12クラス)⇒4コース10専攻(16クラス) 平成30年度より福祉専攻をアクティブ福祉クラスと音楽コミュニケーションクラスと2クラス制とした 令和元年度より福祉専攻を福祉専攻(福祉)と福祉専攻(音楽)の2専攻とした 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休校とした 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休校とした								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載